

飛翔

発行責任者
平塚MAC
今込 祐弘



会員のボランティア活動

須賀の寺子屋は

生きがいと楽しさ

会員の中村輝夫さんは須賀公民館や太平洋中学校で、地元の子ども学習支援グループのボランティア活動に参加をされています。小学生や中学生の宿題や授業の補習等の支援が活動内容で、知人の紹介で3年半前から参加されました。

「子ども学習支援グループ 館会議室で部活動後2時間 須賀の寺子屋」は、本人や家庭の事情で家庭学習が十分にできない小中学生を対象に、学校の宿題や授業の補習等の自主学習支援の活動を6年前にスタートしました。現在、小学生14名・中学生16名を、学習支援員と見守り支援員（スタッフ等）36名で支援しています。

オンライン学習や

軽食提供も

活動は、小学生が月2回、須賀公民館で放課後1時間 複数学習をしています。中学生は月3回、太平洋中学校体育



館会議室で部活動後2時間 須賀の寺子屋」は、本人や家庭の事情で家庭学習が十分にできない小中学生を対象に、学校の宿題や授業の補習等の自主学習支援の活動を6年前にスタートしました。現在、小学生14名・中学生16名を、学習支援員と見守り支援員（スタッフ等）36名で支援しています。

「子ども学習支援グループ 館会議室で部活動後2時間 須賀の寺子屋」は、本人や家庭の事情で家庭学習が十分にできない小中学生を対象に、学校の宿題や授業の補習等の自主学習支援の活動を6年前にスタートしました。現在、小学生14名・中学生16名を、学習支援員と見守り支援員（スタッフ等）36名で支援しています。

知事からの表彰

支援員には各種研修会、プロジェクト活動が用意されています。昨年は活動の成果が認められて「かながわ子ども子育て支援奨励賞」を黒岩神奈川県知事から戴いています。私は、今から3年半ほど前、知人から「須賀の寺子屋」の存在を教えて貰いました。学生時代に小学生・中学生の家庭教師をして教えることの楽しさを経験していたので参加することにしました。現在、中学生の数学を担当していま

【寺子屋活動の用語説明】

- ・ICTスキル: 情報通信技術の頭文字で、コンピューターを使って人と人、人とコンピューターが通信する応用技術スキル。
- ・GIGA スクール 構 想: Global and Innovation Gateway for Allの略。児童生徒1人1台の学習者用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想。

す。1対1の個別学習なので生徒の特長に合わせて教えることで、理解して貰えた時はうれしくなります。最近の子どもは核家族などで年齢の違った人と話す機会が少ないことから積極的に会話をすることで人格的な成長に役立てたいと思っています。

最新スキルも習得

リタイア後はとかく世間との繋がりが薄くなりがちですが、研修会でZOOM会議の方法やタブレットを使ったオンライン学習の方法、最新のICTスキルアップ研修としてGIGAスクール構想の現状、諸外国のデジタル化の状況等新しいことを学べました。団体の3年後の姿を想定して何をすべきかのプロジェクトチームに参加することで年齢や経歴等

の違ういろいろな方と交流出来て楽しいです。最近、年に6回発行の部内紙「須賀の寺子屋通信」の編集を担当することになりました。会を俯瞰的に見たり、原稿の依頼で人を知ることが出来たりと面白く過ごしています。

一緒に活動しませんか！

最後に、当MACの武次 秀さんも中学生の学習支援員として活躍しています。このような活動は人材が大切です。学習支援員は勿論ですが、見守り支援員（スタッ

会則改訂への意見募集

M A C 役員会

役員会では現在平塚MACの会則の見直しをしています。次年度総会に提案を予定しています。見直し案について、皆さんからご意見を伺いたいと思います。10月末を目途に意見をお寄せ下さい。

主な改訂理由は、

- ①事務局を役員に位置づけ総会で決定する。従来は幹事の中から選出。
 - ②定時総会、臨時総会の成立要件の見直し。従来は会員の3分の2以上の賛成が必要を過半数とする。
 - ③コロナ禍の様なケースを想定し、定時総会の書面議決を明文化する。
 - ④発足以来の時代背景変化に伴う変更。(市の部署名、入会時の手続きなど)
- 詳細は別添の改訂箇所一覧をごらん頂き、ご意見の連絡先は、事務局山本和昭までお願いいたします。

当面のスケジュール

10月 4日	(月)	パークゴルフの会
10月14日	(木)	パソコン勉強会
10月18日	(月)	パークゴルフの会
10月28日	(木)	パソコン勉強会
10月29日	(金)	アヒルの会
10月1日、8日、15日、22日	(金)	囲碁を楽しむ会

フ)も常時募集しています。どなたか参加あるいはご紹介いただけませんか。ご連絡をお待ちします。

中村 輝夫 記